

令和8年度 運営に関する計画

中期目標

令和8年度 年度目標

取り組み

指標

安全・安心な教育の推進

○小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を89%以上にする。
○小学校学力経年調査における「自分には、よいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を

- 1. 安全・安心な教育の推進
- 2. 豊かな心の育成

○小学校学力経年調査における「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。
○小学校学力経年調査における「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を88%以上にする。

・「心の天気」を活用を定着させたり、伝える場を工夫したりするなどして、自分の気持ちや思いを伝える機会を十分に設ける。また、ネームカードを活用し心の天気を入力したかどうかを視覚化する。
・情報モラル教育を全学年で取り組む。
・社会見学やゲストティーチャー等の体験的な活動を各学年で取り組む。

・「心の天気」の登録率を全学年で80%以上にする。
・大阪市学力経年調査で「インターネットや生成AI、SNS等を活用するときに、情報の確かさを確認したり、悪口やいじめにつながる内容を扱わないよう注意したりしていますか。」で、肯定的な回答を90%以上にする。
・大阪市学力経年調査における「将来の夢や目標をもちっていますか。」で、肯定的な回答を90%以上にする。
・校内児童アンケートで「校外活動やゲストティーチャーの授業は楽しく役に立つ内容だった。」の肯定的な回答を、前期より後期を増やす。

未来を切り拓く学力・体力の向上

○小学校学力経年調査における「学級の友達とで話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。
○全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点の対全国比を男女とも1以上を維持する。

- 4. 誰一人取り残さない学力の向上
- 5. 健やかな体の育成

○小学校学力経年調査における「学級の友達とで話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を82%以上にする。
○小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか。」に対して、もっとも肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。

・授業公開（図画工作科研究授業、一人一授業、効果検証授業等）を通じて、自分の考えや意見を友達と共有する授業づくりを進める。
・学習活動の中で一日1回程度、ペアやグループでの話し合い活動を取り入れる。話し合い活動後振り返りを行い、子どもの考えが深まったこと、広がったことについて価値づけられるように授業づくりを進める。
・紙教材・デジタル教材を工夫して活用し、一人一人の児童の基礎・基本の定着を図る。
・児童一人一人の状況に応じて、運動の楽しさに触れられる体育の授業を工夫するとともに、楽しく体力づくりができる取り組み【年3回のミニミニピック月間（1学期：新体力テスト、2学期：一輪車・竹馬・固定遊具、3学期：縄跳び）など】を進める。
・給食カレンダーを活用し、毎週給食クイズを行い、食育の推進を図る。

・大阪市学力経年調査における「パソコンを活用して、自分の考えや意見を、友達と共有したり比べたりしていますか。」で、肯定的な回答を82%以上にする。
・校内児童アンケートにおける「授業で友達と話し合ったり、考えを出し合ったりすることができた。」の割合を前期より後期が高くなるようにする。
・個々の課題に合わせて、子どもが選んで学習に取り組めるように、算数の基礎・基本の定着を図る教材（紙教材・デジタル教材）を朝学の時間などに週1回程度実施する。
・小学校学力経年調査における、算数の学力に課題の見られる児童の割合を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より3ポイント減少させる。
・校内児童アンケートで、「ミニミニピックや体育の授業に楽しく取り組むことができた。」の質問に、最も肯定的に回答する児童を50%以上にする。
・校内児童アンケートで、「給食で自分に合わせた量を残さず食べるようにしている。」の質問に、最も肯定的に回答する児童を75%以上にする。

学びを支える教育環境の充実

○小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、調べた情報をもとに、課題を解決するために情報を収集・整理し、まとめ・表現する取組をしていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。
○時間外勤務時間について、年720時間を超えて実施する教員をゼロを維持する。

- 6. 教育DXの推進
- 8. 生涯学習の支援
- 7. 人材の確保・育成としなやかな組織づくり

○小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度使いましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を70%以上にする。
○小学校学力経年調査における「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか（電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く。）」に対して、「読書を全くしない」と回答する児童の割合を18%以下にする。
○時間外勤務時間について、年720時間を超えて実施する教員をゼロにする。

・一人一台端末の環境を生かし、心の天気の利用や連絡帳などでgoogle classroomの活用・デジタルドリルの活用等を図りながら、個別最適な学びと協働的な学びの実現に向けた取組の推進を図る。
・「大阪市子ども読書活動推進計画」に基づき、全ての子どもが生き生きと読書を楽しむための取組（読み聞かせの工夫・図書館開放の充実等）を実施していく。
・日常、仕事の偏りが出ないよう、分掌部でサポートしながら業務を分担し、18時までに退勤できるようにする。
・メンター研修をはじめ、校内研修を充実するとともに、外部の研修に参加できるようにする。

・校内児童アンケートにおいて、「学習者用端末（一人一台パソコン）を使って、調べごとをしたり考えをまとめた。」の肯定的な回答を前期より後期が高くなる。
・校内保護者アンケートで、「学校は子どもの読書活動の充実に向けた取組を行っている。」の「よくあてはまる」の回答を68%以上にする。
・時間外勤務時間について、年720時間を超えて実施する教員をゼロにする。
・校内保護者アンケートで、「子どもは授業が分かる」と言っている。」の肯定的な回答を92%以上にする。

令和8年度 晴明丘南小学校 学校経営全体構想

日本国憲法・教育基本法・学習指導要領・大阪市立学校活性化条例・大阪市教育振興基本計画・学校運営の指針等

学校教育目標

豊かな心とたくましく生き抜く力をもった子どもの育成

学校教育目標実現に向けた3本の柱

確かな学力

- ・各教科の基礎・基本の確かな習得
- ・安心して自己表現できる学習集団づくり
～教室はまちがうところだ～
- ・校内研究、研修の充実と年間を通した授業実践の充実
- ・個に応じた指導の充実
- ・自ら考え、判断し、表現できる力を高める授業
- ・PDCAサイクルに基づいた主体的な教育課程の編成と改善

安心・安全 豊かな人間性

子ども一人ひとりのよさを認め、励まし自己肯定感を醸成する指導を行うとともに、いじめや暴力・暴言を排除した安全・安心な学習環境づくり
・道徳教育（規範意識の醸成・生命・人権等）の充実
・体験的活動の充実（本物に触れる体験）・たてわり班活動の充実
・特別支援教育（インクルーシブ教育）の充実・国際理解教育の推進等を通して、国際社会を力強く生き抜くための、思いやる心、感動する心、互いの違いを認め合う心等の基礎を育む

生活力・体力

- ・基本的な生活習慣の確立に向けた取り組みの充実
- ・体力づくりに向けた取組の充実
- ・体育の授業の充実～専門家との出会いの場～
- ・食育の推進
- ・保護者・地域・関係諸機関との連携

＝本年度の重点的具体的方策＝
「好き」を育み「得意」を伸ばす、「対話」と「合意」

教職員一人ひとりの専門性の育成

- ・授業力向上のための研究授業の実施
- ・教職員研修の充実（校内外での研修の充実）
- ・主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改革の充実
- ・教職員の個性伸長と多様な能力開発
- ・PDCAサイクルを機能させた教育課程の編成と実施
- ・同僚性を高めるとともに報告・連絡・相談の徹底
- ・教職員の働き方改革（ライフ&ワークバランス）
- ・教育DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進
- ・道徳の授業公開
- ・総合的読解力育成のための授業づくり
- ・通級指導教室開設による学習活動についての校内連携

子ども一人ひとりの学びの保障

- ・楽しくわかる授業づくりの追究
- ・価値ある体験活動の充実と主体的な学びの実現
- ・読書タイム・図書館開放の充実
- ・自主的・自立的な活動を中心とした異学年交流
（より良いリーダーシップ・フォロアーシップの育成）
- ・ユニバーサルデザインの視点を生かした、明るく、すっきりとした教育環境整備
- ・日頃の学習の成果を安心してのびのびと表現できる場の設定
～教室はまちがうところだ～
- ・インクルーシブ教育の視点に基づいた指導の充実
- ・いじめ防止基本方針・学校安心ルールの周知
- ・いじめや不登校のない学校にするための集団育成の充実
- ・外遊びの奨励や体育授業の充実、業間時間等を活用した体力向上

保護者・地域・関係諸機関との連携

- ・子どもの健全育成行事等への積極的な参加
- ・ゲストティーチャーや体験学習などへの協力要請
- ・幼稚園・保育所や中学校区の小学校・中学校と連携した取組
- ・学校公開、HP、「学校だより みなみかぜ」などを通じての積極的な情報発信
- ・学校協議会、PTA、地域等との積極的な連携
- ・関係諸機関（区役所・SW・SC等）との連携強化

指導力の向上

学力・体力の向上 安心・安全な学校 豊かな人間性の育成 学びを支える教育環境

情報発信